

選挙公報掲載文原稿用紙

掲載欄

誰もが 参加しやすい
しくみづくりで、
多様な意見を、地域の政治に活かす。
合言葉は公平に。

「社会をよくしたい」という志を持つ
若者が、選挙に立候補しやすくなる
しくみづくりと、支援を必要とする
人を、支援につなげることができる
しくみづくりからはじめます。

無所属・新人 ながえ あつこ（長江 敦子）プロフィール

1966年（昭和41年）7月31日千葉県で生まれ、茨城県で育つ。56歳。●法政大学大学院
公共政策研究科修了。研究テーマは市民と自治体の協働。●電機メーカーで事務職に従事し、
30代から40代は、webサイトの制作やECサイトの運営、スマホ向けコンテンツやゲーム
の監修など、インターネット関連の業務に幅広く従事。現在は一般社団法人代表。●龍ヶ崎
市に住んで30年。これから先も安心して住み続けられるのか、心配している者のひとり。

不安定で不確実な激変の時代でも、一人ひとりの希望を絶やさない
ようにするための政治の実現を目指すために挑戦します。

ながえ あつこ <https://ibaryutone.jp/>

いつまでも住み続けられる
まちづくりのために

地域の政治を
身近なことに

01 子どもに夢と希望を

すべての子どもが、自分の可能性を閉ざすことなく、夢と希望を持ちながら成長
していくことができる社会の実現を目指します。

- 保育園・認定こども園・幼稚園等の連絡帳のICT化を推進し、保護者と園のコミュ
ニケーションツールや登園の確認などの安全管理への利用と、保護者の声が、
直接、自治体に届くしくみづくりをします。
- 高校中退者、高校非進学者の就業・就労のサポートを強化します。

02 若者に雇用と政治を

誰もが自らの意思と能力において「働くこと」ができ、自分の人生を選択しなが
ら生きていくことができる社会を目指します。また、若者の「直接的な政治参加
の機会」の拡大を目指します。

- ハローワークの離職者訓練・求職者支援訓練の内容をアップデートします。
- 産・学・官・民の協働による新たな分野・産業の創出で、社会に仕事をつくれます。
- 「社会をよくしたい」という志を持つ若者が、選挙に立候補する際のハードルを
下げるため、供託金の見直しを県と国に求めます。

03 すべての人に安心を

住民のニーズを整理して、公共サービスの改善や将来のリスク回避に必要な政策
を立案します。わたしたちの収めた税金が、社会をよくするために使われている
ことを、納得・実感できる社会を目指します。

- 住民が地域で安心して暮らすための公共サービスを提供している市の職員・町の職
員が、業務で感じている問題意識を調査して、公共サービスの改善につなげます。
- 地震や水害、大規模停電などの災害に対する防災・減災対策を、最新の科学デー
タと自治体の連携で強化します。また、エネルギーの循環と地産地消を推進します。

写
真
欄

ながえあつこ

氏
名
欄

留意事項

- ・写真欄には、何も記録しないこと。
- ・氏名欄、掲載欄については、枠内に入るよう記録すること（線にかからないこと）。